令和５年度　京町小学校だより　No.15

京　町

令和５年９月２９日（金）
地域を愛し、豊かな人生を歩む
ために学ぶ子どもの育成
《文責》　校長　小西　郁美

■子(こ)どもたちのよさを伸(の)ばします。

４月に６年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査では、「学力に関する調査」（国語・算数）と「生活習慣や学習環境等に関する調査」が実施されています。この結果は、子どもたちの学力全てを表すものではありませんが、確かな学力を育む上で大変重要なものであると受け止めています。

そこで、その調査結果からわかった傾向（主なもの）をまとめてみました。

学習面	**＜国語＞** ○全体的に無回答が非常に少なく、意欲をもって問題に取り組んでいます。 ○文章を読み取る力が着実に伸びています。 ●「資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く」という設問に対して、無回答率が高い傾向にあります。このことから、「示された条件にもとづいて、まとまった文書を書く」力をより育んでいく必要があると考えます。 **＜算数＞** ○結果を導いた理由について、自分の言葉で書く力が伸びています。 ○全ての問題を最後まで解こうとする意欲が見られます。 ●絵やグラフ、あるいは文章問題から、たずねられていることについて、式をたてることに課題があります。
生活面	・「自分にはよいところがありますか」に概ね８５％が肯定的に答えています。 ・「将来の夢や希望をもっていますか」に概ね８５％が肯定的に答えています。 ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に概ね９５％が肯定的に答えています。

＜授業改善に向けて＞

・授業の中で、考えたり、意見を言ったりなど子どもが活動する時間を必ず設定します。
・授業の中で、子どもが受け身ではなく、主体的に学ぶことができるような学習課題を設定します。
・授業の中で、自分の言葉で授業のまとめを行うことができる時間を設定します。

■　GTEC Junior(ジーテック ジュニア)・・・5年生(ねんせい)・6年生(ねんせい)

GTECは、英語の授業で学んだ内容を通して、４技能（話す・聞く書く・読む）の英語力がどのくらい身についているかを測定するテストです。タブレット・ヘッドセット・タッチペンを用いて、ゲーム感覚も取り入れられ、楽しく受けることができるように工夫をされています。５年生以上が対象のテストです。先行事例として本校の５年生と６年生がGTECに臨みました。お子さま方は、真剣な表情でテストに取り組むことができていました。

■　教育実習生　古賀　愛深　先生

9 月 25 日（月）から、４週間の期間で本校で教育実習をされます。主に、3 年 1 組の小寺文子先生の学級で、実習を行う予定です。

〔子ども達へのメッセージです〕
みなさん、こんにちは。私は、先生になるためのお勉強をしにきました。みんなに負けないくらい明るく楽しく、がんばります。たくさん声をかけてくれるとうれしいです。よろしくお願いします。

■2年生　社会科見学「マリンワールド」9月22日

2 年生は、国語の学習で「じゅういさんのしごと」という教材を学習します。そのため、社会科見学としてマリンワールドに行きました。
〇わたしは、バックヤードツアーが一ばんたのしかったです。一ばんさいごの大水そうの上を歩くのが、一ばんこわかったです。水を大水そうの上から出して、しぜんみたいになみをおこしているのがすごかったです。また、休みの日にマリンワールドに行きたいです。こんど行ったときは、おみやげを買いたいです。

■京町小読書マラソンスタート

読書の秋を迎え、お子様に読書に親しんでほしいと図書委員会で、「京町小読書マラソン」の取り組みを始めました。３０冊を読むとゴールです。9 月 25 日の段階で、5 年 2 組の下川うたのさん、4 年 1 組永田みなみさんの二名がゴールをしました。
ゴールをしたお子様は、図書室前に読書リストを紹介したり、学校だよりなどで紹介いたします。

■5年生　稲刈り体験　9月25日

JA にお声をかけていただいて稲刈り体験をすることができました。
〇今日は、稲かり体験をしました。稲かりをするときに、お手本を見せてもらって、意外とかんたんだと思っていたけど、やってみると力が必要で大変でした。でも、これを昔の人はもっと長い時間やっていたので、すごいと思いました。お米がとどくまでこんなに大変だということをはじめて知り、これからの授業にいかしたいと思いました。
〇稲をかるのは大変なんだなと思いました。稲かり体験をしてわかったことは、手作業でかるのは苦労するということです。これをやっていた昔の人は、すごいなと思いました。